

発行所
カトリック福江教会
 広報委員会
 五島市末広町 3-6
 ☎ 0959 (72) 3957
 ●ホームページ●
<http://fukuechurch.jimdo.com>

稲田祐馬

新司祭誕生！



十月十一日(日)浦上教会にて司祭助祭叙階式ミサが行われ、八幡町教会出身でシモン稲田祐馬師が司祭に、宝亀小教区中野教会出身のヨセフ龍甲屋賢治神学生が助祭に叙階された。新型コロナウイルス対策の為、参加人数が制限されたこともあり、福江教会の信徒・シスターの参列は十

人ほどとなったが、叙階された二人の出身教会やゆかりのある教区の関係者や、司祭団七十六名など全体で四〇〇名ほどが聖堂に集まった。ミサに先立ち、福江教会の中村満神父様が教話をおこない、叙階の恵みを受ける二人に対してお祈り下さるようにと話された。

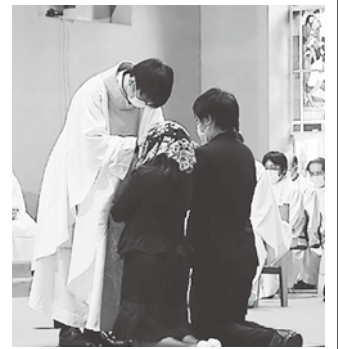


叙階の儀では、まず高見大司教様より司祭の務めが告げられた後、諸聖人の取次ぎを願うための連願を唱えた。そして、大司教様の按手に続き中村補佐司教様と参列するすべての司祭による按手が連続して行われた。その後、聖別の祈りが唱えられ、平和のあいさつによって新司祭稲田祐馬師

が誕生した。

叙階の儀に続き聖体祭儀が行われ、ミサの最後に稲田新司祭がまず家族に祝福を与え、その後会衆に対し祝福を下さる場面があり、感動と興奮が聖堂内に満たされた。

ミサ終了後、大勢の他教区の信徒



達に圧倒され戸惑いながらも、何とか稲田神父様のもとに辿り着き、お祝いの言葉をかけ記念写真を撮ることができた。福江教会に來られて約半年と短い期間ではあるが、助祭から司祭になられるまでの姿を見て、そして司祭叙階の瞬間に立ち会わせてもらえた事に感謝しながら帰路についた。

お知らせ

◆クリスマス～年末年始の予定

《クリスマス募金》

12月24日(木) 午後6時から

※聖堂前で行います。ご協力をお願いいたします。

《クリスマスミサ》

12月24日(木) 午後7時

※恒例のミサ後のぜんざいサービスは、感染防止のためお休みします。

12月25日(金) 午前9時

《年末ミサ》

12月31日(木) 午前6時 午後7時

《年始ミサ》

1月1日(金) 午前9時

1月2日(土) 午後7時

1月3日(日) 午前6時 午前9時

◆今後の予定

●1月10日(日) 午後1時

馬小屋、イルミネーション撤去

●1月17日(日) 午前11時

下五島地区合同堅信式

稲田新司祭 初ミサ&祝賀会

福江教会



十一月一日(日)二番ミサにて、シモン稲田祐馬新司祭による初ミサが行われた。十月の叙階式前に福江を離れて一か月弱。新司祭となり帰って来られた稲田師の初ミサに、期待と緊張感が聖堂内に満ちていた。

ミサは肅々と進行して行ったが、所々の折りや所作に初々しさを感じた。司祭として大勢の信徒の心と向かい合い、ミサを文字通り「司る」。初心を感じるミサとなった。

ミサの最後に祝賀式が行われ、副議長の前口氏によるお祝いの言葉の後、花束と霊的花束が贈られた。稲田神父様から「皆さんから沢山のお

祈りと、お祝いの言葉を頂き本当に有難うございました。これから少しずつでも皆さんにお返しする事が出来るように頑張りたい。十月の叙階でもありますし、実るほど頭を垂れる。気持ちであり続けたいと思います。」とお礼の言葉があった。

ミサ後には、信徒会館にて祝賀会が開かれた。会食後には余興もあり、中村神父様、金神父様のマジックショーやシスター、信徒によるダンスなど、会場は驚きと笑いに包まれた。後半は、全員での合唱や叙階式の様子のスライド上映会もあり、盛況のうちに祝賀会は終了となった。似顔絵の色紙を手に。後方の椿の葉の部分に信徒・シスター方のお祝いメッセージが書かれています。その中の一部を紹介します。



・つぼみが
見事に開きました。スタートしました。全世界、日本の教会、長崎教区、福江教区のため
に精一杯持てる力を発揮して欲しいです。待っていました。本当におめでとうございます。(シスター)
・稲田神父様、叙階おめでとうござ

います。これからが本番です。自問自答しながら主のお恵みに答えて行くことが出来ますようにお祈り申し上げます。(シスター)

・稲田神父様、司祭叙階心よりお喜び申し上げます。これからますます皆さんの神様の恵みがあることを願っております。ごミサの中の稲田神父様のお話をいつも楽しみにしております。

・おめでとうございます。稲田神父さまのおかげで、初めて霊的花束が作れました。これからも神父様の生活がおすこやかでありますように。
・叙階おめでとうございます。宣教、愛のわざに励みよい羊飼いとして頑張ってください。

・司祭叙階、おめでとうございます。助祭から司祭に向かわれる姿を近くで眺めて、たくさんのお恵みを私たちにいただきました。ありがとうございます。神父様が、生涯、司祭の務めを忠実に果たされ、お祈りさせて頂きます。(シスター)
・さあ出かけよう。この地から！祝
(N.M)



海岸清掃活動報告

去る十月四日(日)午後一時頃より香珠子海岸にて、清掃活動が行われた。神父様、シスターと信徒など四十名程が現地に集合し岩下議長の説明の後、海岸付近のゴミを集める作業が始まった。

今回の活動は、日本カトリック司教協議会が、教皇様の訪日にこたえて、毎年九月一日、十月四日を「すべてのいのちを守るための月間」と定めたことによるもの(詳しい経緯等はカトリック中央協議会のHPを参照のこと)。教皇様の環境保護に対する呼びかけにこたえるために、各小教区ごとに近隣の海岸清掃が企画された。

九月に襲来した大型台風の影響で、香珠子海岸には大量のゴミが漂着しており、皆時々会話を交わしながらゴミを拾い集めた。ゴミの種類はペットボトル、流木、プラスチック製品が多く一時間半弱で三〇袋程のゴミが集められた。参加したみなさん、大変お疲れさまでした。これを期に、来年もこの様な活動が行われ更に多くの方々が参加することを期待します。



初聖体式

おめでとう!!

2020



十一月十五日(日)二番ミサにて、初聖体式が行われた。この日を迎えるために教会学校で勉強し、様々な準備を行ってきた男子六名と女子三名の子供たち。少し緊張した様子でミサが始まった。子供たちと保護者の方々は、朗読や奉納、共同祈願などそれぞれ典礼奉仕に参加。神様への決意表明と信仰宣言の後、いよいよ聖体拝領の時を迎えた。中村神父様より小さな手に授けられた「イエス様」を各々が大事そうに見つめた後、口にする様子が見られた。

閉祭にあたり、お祝いの式と神父様、カテキスタへの感謝式が行われた。中村神父様から「おめでとうございませう。これからも神様に会いに教会に来てください。そして家族の皆さん、まわりの皆さんで社会で、子供たちを支えて育てて下さいますようにお願いします。」と語りかけた。最後に保護者代表の梅木裕太氏よりお礼の言葉をもって終了となった。



ようにお願いします。私も初聖体の時のことをよく覚えていきます。今日の日を大切にしてください。」とお祝いの言葉を頂いた。最後に保護者代表の梅木裕太氏よりお礼の言葉をもって終了となった。

今年も、新型コロナウイルス感染症対策のため例年と異なる進行となったり、終了後の茶話会を中止とするなど、特別な初聖体式となった。

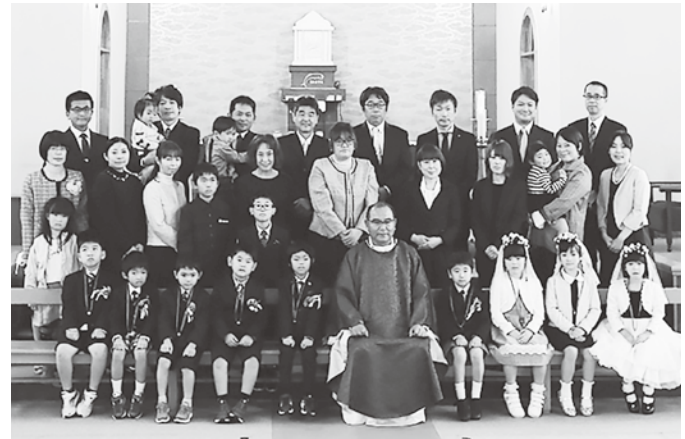
【お祝いのご挨拶】

なかむらしんぷさま、きょうは、ぼくたちのために、はつせいたいをさずけてくださりありがとうございました。きょう、ぼくたちは、はじめて、ごせいたいのイエスさまをいただきました。このひがくるのを、ずっとたのしみにしていたので、とてもうれしいです。

ごせいたいをいただいて、ぼくたちはいまでも、もっともつとイエスさまとなかよくなりたいたいです。そして、イエスさまによるこんでいただけるように、これからもおいのりをしたり、おてつだいをしたり、おともだちとなかよくしてきょうかいはのおんげきょうもがんばつていつともわたくしたちのために、がんばつてくれるかぞくのみなさん、たくさんおいのりしてください。きょうかいはのみなさん、シスターたち、きょうは、ありがとうございます。

そして、じょうきゅうせいのみなさん、これからも、わたしたちにかみさまのこころ、きょうかいはのこころを、たくさんおしえてください。わたしたちも、イエスさまのように、だれにでもやさしく、しんせつにして、おいのりがんばりたいとおもいます。きょうは、ほんとうにありがとうございます。

だいひょう おだ はるき
はまさき あんり



「かみさまによるこんでいただくためにがんばること!」



◆フィリポ
小畑勝功くん
てえぶるふき、せんたくも
のたむことをがんばる。



◆ペトロ
赤岸 諒太郎くん
①ぶどうしゅ(奉納)をお
とさずにやる。②もくよう
びはいえでしゅくだいをす
る。③いわれたことをする。



◆フランシスコ・ザビエル
中村 悠馬くん
おてつだいをがんば
ります。



◆使徒ヨハネ
小田 春輝くん
おてつだいを、がん
ばります。



◆ミカエル
葛島 拓海くん
ソフトをがんばる。



◆フランシスコ・ザビエル
熊川 巧士朗くん
しゅくだいをまいに
ちする。



◆テレジア
濱崎 杏梨さん
おいのりでもなんでも
きょうりよくして、がんば
りたいとおもいます。



◆クララ
梅木 徠々海さん
いっしょつけんめい、いろ
いろががんばりたいです。



◆アンナ
田端 夏妃さん
バスケットをがんばる。
ともだちをたいせつに
する。

聖ミカエル中村神父様・シモン稲田助祭様 霊名のお祝い

九月二十七日(日)二番ミサにて中村満神父様、稲田祐馬助祭様の霊名のお祝い式が行われた。岩下議長と小学生の濱口君よりお祝いの言葉が、花束と霊の花束(色紙)が生涯養成委員会より贈られた。

お礼の言葉として中村神父様は、「福江教会も六年目になり、私の予想では最後の年だなぁと思っておりますが、コロナにやられて集まりもできずに悶々としている状況です。ワクチンが早くできて欲しいと願っています。」「今日もミサ使用に子供たちが四人もきてくれました。子供たちは教会にとって神様からのプレゼントです。子供がもっと活発に活動して欲しいと思います。」と述べられた。

十月に司祭叙階を控えていた稲田助祭様は「霊名のお祝いにあわせ、叙階のお祝いの霊的花束作りにかくさんのお



祈りありがとうございます。福江では御言葉の奉仕に集中することが出来ました。神学生の時よりも福江教会に来てからの方が質が変わったと感じます。お恵みが沢山あったからかなあと思います。」と述べられた。

ミサ後にはお二人のますますの活躍を願って信徒会館にて茶話会が開かれた。

小学生黙想会

十一月三日(火)と同月二三日(月)に小学生の黙想会を行いました。例年下五島地区合同で夏に行っていましたが、コロナ対策のため各教会で分散して行われ、福江教会では学年を分けて午前中だけの開催となりました。オリエンテーション、朝の祈りに続きDVD鑑賞を行いました。高学年のテーマは「天国はある」でドキュメンタリー映画「天国はほんとうにある」。低学年のテーマは「みんなと仲よくしよう」でアニメ「あらしのよるに」を鑑賞し、感想文や絵をかいて、最後に感謝のミサを共に捧げました。

子どもたちの感想文と絵を一部紹介します。

◇「天国はほんとうにある」を見て
五年 濱口 楓人

ぼくは、あれを見てコルトンは、とても神に愛されている人だと思いました。なぜかという、神はコルトンに天国を見せてくれていたし、それだけでなく、ドットのおじいちゃんやもう一人のお姉ちゃんとも会わせてくれていたからです。そして、お姉ちゃんが二人の男の子をなぐっていたところで、どちらが悪いんじゃないかと思いました。なぜかという男の子のほうもボールをお姉ちゃんにぶつけ、コルトンの悪口を言っていたし、逆にお姉ちゃんのほうも、ぼつりよくをせずに、言葉で解決させればよかったと思うからです。ぼくはこのことを通してコルトンみたいに、すなおで思いやる心を持って、他の人たちにもやさしく対応する人になりたいと思いました。

何にでもやさしく対応して、



1年 小田 はるき

コルトンみたいに、神に愛される人になりたいです。

◇「あらしのよるに」を見て
五年 真鳥 咲衣子

私は、「あらしのよるに」を見て、敵でも、友達になれるということが分かりました。おおかみとやぎでも、友達になれるということは、私たち人間も誰でも友達になれるということだと思えます。今は、黒人と白人で差別をしたり、コロナウイルスにかかった人をきらったりしてしまっています。これからは、差別がなくなるように、私ができることをがんばりたいと思います。そして、ガブとメイが色々な試練を乗り越えたように、どんなに辛いことや、悲しいことがあっても、友達とのりこえていきたいと思います。



1年 梅木 ららみ